

平成30年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（3月28日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	(3月7日実施)	成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①福祉マインドの育成を図り、手話の普及を進める。 ②生徒の主体的・協働的な学習活動を進めるとともに、教育の質と量の向上を図る。	①福祉マインドの育成に向けて、総合的な学習の時間の内容を充実させる。 ②教育の「質の確保・向上」を図るとともに新学習指導要領について研究を進める。	①総合的な学習の時間において、福祉マインドに向けた実践や講話等を行う。 ②行事の実施時期等の見直しにより、生徒が集中して学習に取り組むことのできる期間を確保するとともに、授業の質を向上させる。 ②生徒の自習スペースを確保し、恒常的に学習に取り組むことのできる環境を作る。 ②新学習指導要領に係る研修会を実施し、策定方針を検討する。	①生徒アンケート等の結果、生徒の変容が見られたか。 ②生徒による授業評価が前年度に比べ向上したか。 ②生徒の自習スペースを確保することができたか。また、そのスペースを活用できたか。 ②新学習指導要領に係る新教育課程の策定方針を作ることができたか。	①福祉マインドの育成に向けた講話を行い、振り返りシートに手話等を積極的に使い、コミュニケーションをとりたい等の記述があった。 ②授業評価全体では前年度よりも向上した。 ②来年度については自習スペースを確保することができた。 ②研修会を開き、新教育課程編成の策定方針を作ることができた。	①新教育課程の先行実施に伴い、総合的な探究の時間での福祉マインドの更なる育成ができるように検討を続ける。 ②自宅学習については相変わらず低いので、職員全体で取り組む必要がある。 ②再来年度以降についての検討が必要である。 ②新教育課程編成指針に基づき、具体策を検討する。	①福祉マインド育成の講話、自習スペースの環境改善などすばらしい。 ②PTAや学校運営協議会等にアンケートを実施し、結果を教育課程編成に反映していることを、保護者にもアピールしたらしい。	②同窓会の寄付で生徒棟2階6教室にプロジェクターを整備した。今後タブレット等を利用した授業研究が期待できる。	・ICT機器を活用した授業づくりの取組みをさらに進め、授業改善に向けて取り組む。 ・新教育課程編成指針に基づき、具体策を検討する。
2	生徒指導・ 支援	豊かな人間性と社会性を育み、一人ひとりに応じたきめ細かな支援をする。	適切な状況判断のできる社会性を身に付けた生徒の育成を進める。	・統一した指導を継続的に行うことにより、生徒の身だしなみ・マナー・社会的なルールに対する意識を向上させ、基本的な生活態度を身に付けさせる。	・全職員で統一して指導できたか。 ・生徒の身だしなみ・登下校時のマナーが改善したか。また、遅刻者が前年度に比べて減少したか。	・定期試験期間に全職員で頭髪指導を行った。 ・継続した登下校指導により、自転車のマナーが浸透しつつある。 ・遅刻指導対象者数が前年度に比べて増加し、来年度に向けて課題が残った。	・生徒の服装等が多様化し、指導が難しくなっている。 ・すべての職員にとって分かりやすい指導基準を作成する必要がある。 ・遅刻させない指導について検討する必要がある。	・挨拶やマナー面で、向上が見られた。 ・様々な所できめ細かい指導ができていていると感じた。	・支援を必要とする生徒に対して、より決め細やかな対応策を構築する。 ・部活動への加入率が70%台となり、低下している。新たな対策を講じる必要がある。	・学習や部活動など学校生活を充実させるような取組みを進める。
3	進路指導・ 支援	生徒が自らの意志と責任で、よりよい進路選択ができるよう、進路指導計画の充実を図る。	生徒が主体的に進路を決定する能力・態度の育成を図る。	・生徒が意欲的に外部試験等でのキャリアアップをめざすような効果的な指導を展開する。 ・外部試験の振り返り及び教員研修を行い、学校全体で効果的なキャリア教育及び進路指導に取り組む。	・意欲的に外部試験等でのキャリアアップをめざすような生徒が増えたか。 ・外部試験の振り返り及び教員研修を行い、学校全体で効果的なキャリア教育及び進路指導に取り組めたか。	・今年度より英語外部試験でSpeakingテストを導入した結果、目標とするスコアアップをめざすような生徒が増えた。 ・外部試験の生徒対象の振り返りを3/20に行う予定である。また教員対象の分析会も同日に行う。	・年度当初に生徒個別の具体的な目標を立てさせ、より積極的に外部試験等に取り組ませる。 ・動機付けや刺戟のある現在の指導を続けてほしい。	・外部試験の導入はいい取り組みである。 ・動機付けや刺戟のある現在の指導を続けてほしい。	・模擬試験後の研修会等において、データを活用し職員が共有することができた。	・業者模試等のデータの活用、面談週間の有効活用等により、生徒の進路意識を高め、主体性を育む進路指導に取り組む。
4	地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域から愛される学校づくりを進める。	教職員・生徒の防災意識を高めるとともに、地域と連携した防災体制を構築する。	・防災意識を高めるために防災委員にポスターを作成させる。 ・災害図上訓練や地域と連携した防災訓練の参加者を昨年度より増やす。	・防災委員にポスターを作成させたか。 ・災害図上訓練や地域と連携した防災訓練の参加者が昨年度より増えたか。	・ポスターを作成させ、掲示した。 ・地域の防災訓練に職員7名、防災委員、部活動の生徒37名、計44名が参加し、ほぼ昨年度並みの参加数を達成した。	・ポスター作成を今後も継続させる。 ・災害図上訓練の拡大をめざす。	・防災訓練に積極的に参加して感謝している。 ・地域への「協働」だけでなく「貢献」につながってきている。	地域の防災訓練には一部の生徒ではあるが、積極的に参加し成果をあげた。	・今後予測される大規模地震等の自然災害に備え、生徒の災害対応力の向上に取り組む。
5	学校管理 学校運営	生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。	快適な学習環境を確保するとともに、地域協働による学校運営を進める。	・美化委員にポスターを作成させ、ゴミの分別やポイ捨て禁止を呼びかける。 ・学校運営協議会での意見交換を活発化させる。	・美化委員にポスターを作成させたか。 ・学校運営協議会での意見交換を活発に行えたか。	・ポスターを作成させ、掲示した。 ・委員の質問・意見のための時間を最大限確保した。	・ポスター作成を今後も継続させる。 ・協議会資料を2週間前には送付する。		・学校運営協議会での意見やアドバイスを参考に、地域に信頼される学校を目指す。	・事故・不祥事防止のための職場環境づくりに向け、職員間で支えあう体制に向けて取り組む。